

第3章 重点的に推進すべき公共施設の整備に関する事項

本地域においては、環境にやさしい産業の創出と、豊かな自然環境を活用した「複合交流都市圏」を創造するとともに、大館能代空港と日本海沿岸東北自動車道等の整備による交通の利便性を活用した、観光リゾート地としての「北東北の観光拠点交流エリア」を形成するという基本目標の実現に向けて、以下の4つの整備方針を設定する。

- ①産業振興、国土保全、生活環境基盤整備の強化充実に努める。
- ②東京・大阪圏及び青森、岩手の隣接地域との連携強化を図るとともに、地域内の交通ネットワークの早期整備拡張を図る。
- ③新たな産業の創出とそれにとまなう生活・交流基盤の整備を促進する。
- ④豊富で多様な自然環境を活かし、農山漁村の振興を図る。

3. 1 基盤施設

(1) 道路

本地方拠点都市の各都市間の交流を促進し、圏域の一体性と広域的な交流を促進するためには、日本海沿岸東北自動車道の早期完成が不可欠であるとともに、一般国道の整備とアクセス道及びバイパス等の整備を促進し、本地域の都市軸の形成に資する交通基盤の整備を図る。

また、中心都市以外の構成町村の各施設との連絡性を高め、さらに圏域外の地域との交流を活発化するため、国道101号、国道103号、国道282号、国道341号、国道105号、国道285号及び主要地方道等の改良事業の促進を図る。

- ①日本海沿岸東北自動車道未供用区間の早期整備
- ②国道103号バイパスの整備
- ③地域内の交流連結強化を図る主要地方道等の整備
- ④大館能代空港アクセス道の整備
- ⑤交流拠点施設や各種プロジェクト関連道路の整備

(2) 鉄道

本地域の鉄道については、JR奥羽本線のスピードアップや複線化、花輪線のスピードアップと東北新幹線との接続改善などを積極的に要請するほか、秋田内陸縦貫鉄道とともに輸送力増強を図る。

(3) 港湾

能代港には平成13年に4万トン級岸壁を備えた多目的国際ターミナルが完成し、機能強化が図られ輸出入実績も増加しているものの、その9割が火力発電所の原料である石炭で占められている。今後はリサイク

ルポートとして利活用促進を図る。

(4) 治水・砂防・河川

本地域には、多目的ダムとして5箇所が完成しているが、社会基盤の形成を図るため水害、土砂災害を防止し、水と緑豊かな生活環境の創造と、今後の水需要の増大に対応するため、森吉山ダム等の建設を推進する。

(5) 上下水道

排水処理施設の普及等により水需要の増大が見込まれるため、安定した水の供給とライフラインの確保のため、上水道の供給区域を拡張し、未普及地区の解消を図る。

また、下水道事業については、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水施設整備事業の推進により、水質保全及び生活環境の向上を目指す。

(6) 産業基盤整備

本地域には、県及び市町村が整備した23の工業団地があり、大館地区では医療器具・医薬品産業の進出にともない、県事業により工業団地の造成を予定している。今後は県北部エコタウン計画との連携により、大館能代空港や能代港及び日本海沿岸東北自動車道の整備にともない、交通利便性を活かしリサイクル産業関連企業等の誘致を促進する。

(7) 情報通信基盤の整備

ブロードバンド時代に対応した高度情報通信ネットワークの基盤整備を促進し、情報受発信能力の向上を図るとともに、地域間の情報格差の是正と緊急時の連絡網の確保のため、テレビ難視聴地域及び携帯電話の不感地域の解消に努める。

(8) 農林水産業基盤整備

本地域の主な産業は農林水産業であり、担い手の確保・育成を図るため集落営農組織の育成と法人化を推進するとともに、基盤整備事業等を計画的に進め農業経営環境の整備促進により、認定農業者や担い手への農地集積を促進する。また、農業経営を安定化するため野菜、果樹、花き、畜産等の複合経営を、消費者ニーズに対応した安全・安心で高品質な農産物づくりとブランド化を推進する。

漁業においては優良な漁場を有しており、漁港・漁場・漁村の一体的な整備により県の魚ハタハタを主体とした水産資源の維持・増大を図り、「つくり育てる漁業」を推進する。

また、圏域内の各漁港では、漁港の機能に加えて観光市場なども整備

し、海洋レクリエーション基地としての機能の充実を図る。

3. 2 学術・文化・教養施設

本地域には、教育機関として、秋田看護福祉大学、秋田職業能力開発短期大学校、秋田しらかみ看護学校が立地しているほか、平成17年には中高一貫校が開学し、人材育成の拠点として整備されている。

今後は、地域住民の教養の高揚を図るため、各地区に整備されている教養文化施設の連携により、生涯学習等各施設のソフト事業を充実させ、利用促進を進める。

3. 3 スポーツ・レクリエーション・公園施設

能代地区には能代山本スポーツリゾート構想に基づき、スポーツ施設が整備され、大館地区には樹海ドーム、樹海体育館など大型施設が整備されている。また、各市町村においてもスポーツ・レクリエーション施設は計画的に整備されている。

今後は、本年開催の秋田わか杉国体を契機に全国大会、国際大会の誘致、開催をさらに推進するとともに、地域住民の健康増進と余暇活動に施設を気軽に利用できるよう、各施設等の情報収集、情報提供をするため、情報ネットワーク体制の構築を推進する。

3. 4 福祉施設

本地域の高齢化は全国平均を上回る速度で進行しており、総人口は減少しているものの、高齢者人口は増加を続け4人に1人が高齢者である。

このような状況の中、秋田県北部老人福祉エリアを中核施設として、各市町村においても社会福祉施設整備が進んでいる。

今後は、これらの施設を中心に、看護福祉大学による人材の確保と社会福祉協議会をはじめ各種ボランティア団体との連携により、介護予防を中心とした福祉サービスの充実を図る。また、すべての高齢者が健康で生きがいのある生活が出来るよう、産業や教育機関等との連携により、高齢者の知恵や経験を社会に還元する仕組みづくりを進める。